

桂こけ枝さんを招いて開催された人権講演会



南風会 中川 幸朗 議員

人権施策の充実を

人権学習・啓発活動に努める **市長**

問 陰湿で卑劣な差別落書きが何度も繰り返されることに対し、市としての見解・防止のための対策は。
市長 許すことのできない重大な差別犯罪だ。こうした行為をさせないために、関係機関とも連携をとり、差別は絶対に許さない立場で対策を講じており、今後とも努力をしていきたい。
問 法律や事業を存続させること自体が目的

ではないが、法律を制定・実施せしめた理由や根拠となった差別の現状は今日どうなっているのか、具体的に議論される必要がある。同和地区の住環境は一定、向上したが、格差や就労実態は、一層困難な状況にある。生活実態を今一度、精査し、実態に即した施策や教育の課題を明確にした取り組みが必要となっている。差別の現状認識、部

書」による優先順位をつけた修繕整備計画とともに、市民に夢と希望を与える将来の施設整備計画の策定が必要な時期にきていると考えるが、市長並びに教育長の見解を伺う。
また、伝統的な文化行事の継続についても見解を伺う。
市長 財政問題もあり、園部公民館等の改善計画の確立に苦慮しているが、スポーツ・文化活動の推進は、まちづくりの

上で大変重要な要素であるので、施設の修繕等に積極的に取り組んでいきたい。
伝統文化行事も地域力の維持につながるものであり、継承・発展できるよう努力をしたい。
教育長 施設の修繕等については、実態を把握し、順次、計画的に進めていきたい。
文化財保護、地域文化祭事業等に対して精査をしながら支援を継続していきたい。
市長 推進計画は、人権教育啓発の基本的な指針であり、本年度中の作成に努力をしている。条例の制定も、今後検討したい。

南丹市の将来を担う子どもたち



活緑クラブ 川勝 儀昭 議員

効果的な子育て支援策を

幼児教育のあり方も検討 **市長**

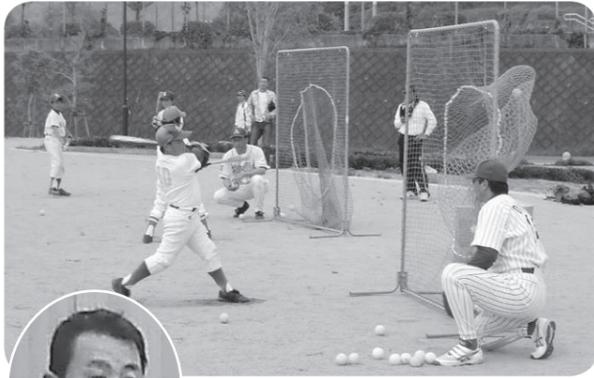
問 本市においては、子育て支援策が実施されている。20年度予算編成において、事業評価し廃止や統合もあるようである。財政が厳しい本市であるが、本来の目的である投資的效果があるのであれば、少子化対策として存続すればいいと考えるが、市長の見解を伺う。
市長 合併前からの施策を全市に広げて実施している。市内の出生数は、平成13年

度には277人であったのが、18年度には214人である。今後、少子化に対応できるような制度の構築が必要である。祝金や手当等だけでなく、保育所体制や幼児教育のあり方等も見直しを図る必要があると考える。
問 すこやか子育て医療費助成事業について、条例には、小学校から高校等終了までの者に対し医療費を助成すると示されているが、中学校を卒業し、未就業の人たちには適用されない。高校

には受験という壁があり、一定以上の学力のある人でないと入れない。また私立においては経済的負担も大きい。また、ひきこもりの人たちもおられる。未就業者が対象となるよう年齢で区切る等の条例改正が必要と考えるが市長の見解を伺う。
市長 未就業の高校生年代の対応は、今後すみやかに検討し、早期に制度上のことも含め決定していきたい。
問 カンボリサイクルプラザとの協定書には、ダイオキ

シン類の排出濃度基準は法的基準と同じく0.1となっているが、カンボ自身自主基準を0.05とし、それを上回ると焼却炉を停止すると明言している。住民の安心安全な生活のためにも協定書を0.05とする必要があると考えるが見解を伺う。
岸上副市長 ダイオキシンの0.1ナノグラムという数値は、一生人間が吸い続けてもまったく人体には影響のない数値である。
0.05は社内目標値であり、現状のまましていきたい。

元プロ野球選手に指導を受ける子どもたち



丹政クラブ 森 爲次 議員

施設整備計画の策定が必要では

修繕等に積極的に取り組む **市長**

問 「つくし園」は、現在の一時支援9名が通園されているが、その施設は、極めて狭く、長生園地内の建物の2階のため、園児の移動や災害時の安全確保が困難である。平成18年6月定例会および先日の厚生常任委員会においても、早期の対応、移転を検討中との報告があった。今後、移転先との話し合いを進め、実現させる必要がある。市長の見解と具体的な計画を

伺う。
市長 現在、「つくし園」が抱えるさまざまな課題は承知している。運営委員会でも今後の療育事業について検討をいただいております。療育を一貫して支援できる発達支援センター的な施設整備について具体的な検討を早期に進めたいと考えている。
問 建設されてからかなりの年数が経過している公民館や体育施設があり、維持・管理に支障が生じつつある。「施設白

書」による優先順位をつけた修繕整備計画とともに、市民に夢と希望を与える将来の施設整備計画の策定が必要な時期にきていると考えるが、市長並びに教育長の見解を伺う。
また、伝統的な文化行事の継続についても見解を伺う。
市長 財政問題もあり、園部公民館等の改善計画の確立に苦慮しているが、スポーツ・文化活動の推進は、まちづくりの

上で大変重要な要素であるので、施設の修繕等に積極的に取り組んでいきたい。
伝統文化行事も地域力の維持につながるものであり、継承・発展できるよう努力をしたい。
教育長 施設の修繕等については、実態を把握し、順次、計画的に進めていきたい。
文化財保護、地域文化祭事業等に対して精査をしながら支援を継続していきたい。

小学校は地域の拠点施設（西本梅小学校）



日本共産党・住民協働市議員団 大西 一三 議員

地域の活性化は小学校を守ることから

地域住民と連携して **市長**

問 周辺部の地域再生と振興を図るには、今ある幼稚園や小学校を維持・存続させるための市としての取り組みが重要と考えるが。
市長 地域振興には、学校や郵便局などの存在とその役割は大きいものがある。地域住民の意向をふまえながら連携していきたい。
問 児童数が減少してきているが、子どもの教育上どのように考えているか。ふるさとを大切にす

る教育が必要では。
教育長 各学校教育の充実を図っていくことが地域の活性化につながっていくと考えている。極小規模学級が増えることも予想される。今後、ふるさとを愛し、誇りの持てる子供たちを育てていかなければと考えている。
問 周辺地域に若者定住化対策として、Uターン・Iターンの奨励や市営住宅など住宅建設の促進を図る考えはないか。
市長 公営住宅の建設は

規制がある。しかし、ニーズに答えていくことは重要である。雇用の場の確保や交通網の充実など、すばらしい環境を整えていく努力が必要である。
問 美山町の地域振興会制度を発展させ、全市域に「地域自治組織」をつくる必要があるが。
市長 地域振興会制度は、全国に誇れる制度であり、全市域への拡充へ地域住民の意向を踏まえながら対処していきたい。

問 裁判においても明らかにされなかった長生園3千万円の不明金は、長生園でどのように対処されているか。当時の理事、幹部の責任は重大と考える。
市長 今、民事事件として争われている。裁判が確定した後に助言・指導など対応を考えている。理事会において逐次裁判状況の報告を受けている。